



## 第6回 卒業証書授与式

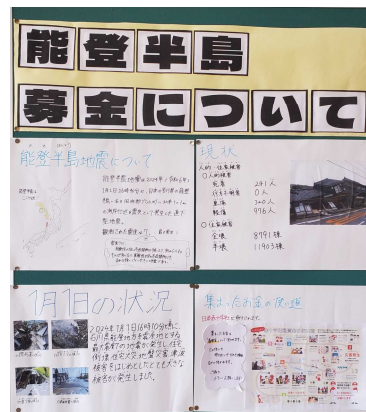


3月11日(月)に「第6回 卒業証書授与式」を体育館で実施しました。今年度の9年生48名はかわち学園で6年間学びました。平成30年度統合当時は4年生でした。元気いっぱい何事にも全力でがんばる48名でした。今年度は5月から感染症法上、コロナウィルスの活動制限がなくなり、学校行事でも9年生の活躍はめざましいものがありました。応援合戦が4年ぶりに復活した体育祭では、赤白両団とも工夫を凝らした演出で、みんなを熱狂させました。腹の底から声を出すのは久しぶりだったけれども、9年生のリーダーシップで団が一丸となり、勝利を願って応援しました。文化祭では、難易度の高い混声合唱曲に挑戦しました。奥行きのある表現力に「さすが9年生！」と圧倒されました。9年生はいつもみんなの憧れであり、目標でした。卒業生代表饗場健太さんのあいさつの中で、今までの感謝の気持ちを表すと共に「これからもたくさんの人に応援していただけるようなかわち学園であってほしい」というメッセージをいただきました。9年生がリーダーとなり、積み上げてきたかわち学園の伝統やよさをこれから、在校生と教職員で一回りも二回りも大きくしていこう、と気持ちが高まりました。9年生一人一人のこれからの活躍を期待しています。そして9年生の保護者の皆様、ありがとうございました。

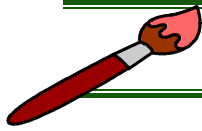


## 募金活動へのご協力 ありがとうございます

1月1日に起きた能登半島地震で被災された皆さんに、「かわち学園からも力を届けたい」という思いから、児童生徒会本部が発起人となって「能登半島募金」を全校児童生徒に呼びかけました。期間は2月26日～3月8日まででしたが、たくさんの児童生徒・ご家庭にご理解・ご協力いただき、約6万円を集めることができました。この募金は義援金として日本赤十字社を通して、被災地の皆さんの活動に役立てていただきます。被災地では、まだまだ支援の手が届かない地域がたくさんあると聞きます。また、本校の児童生徒と同年齢の皆さんが、忍耐強くさまざまとことに取り組んでいる様子も伝わってきます。災害等への支援で大切なことは「忘れない」ということだと聞きます。一人一人ができることを探し、支援が長く続く活動になっていくように、教職員も力を合わせていきたいと思ひます。







## 5年生 キッズゲルニカに参加！



5年生が「キッズゲルニカ国際子ども平和壁画プロジェクト」に参加しました。このプロジェクトは、有名な画家パブロ・ピカソの『ゲルニカ』と同じサイズのキャンパス(3.5m×7.8m)に世界中の子供たちによって『平和』をテーマにした絵を描くというものです。第二次世界大戦終結後50年の1995年に始まり、今年で29回目を迎えます。日本と国境を接するロシアで戦争が起きている現在子供たちに戦争の恐ろしさや平和の大切さについて改めて考えてほしいと思い、この学習を実施しました。絵を描く前にみんなが『平和な世界のイメージ』を話し合い、出た結論が「笑顔で過ごす日常生活」でした。この答えを聞いて、子供たちが普段から幸せに過ごしていることが伝わってきて、嬉しく思いました。



<5年生が描いたアート作品>

## 先輩から後輩へ～学びの発表会を実施しました～



2月20日に3年生が「総合的な学習の時間」に追究した課題のまとめ発表会①を開きました。総合的な学習の時間は3年生から始まります。大テーマは各学年で決まっていますが、その中で自分が追究したい課題を決め、週2時間その解決をめざしました。3年生の大テーマは、「私たちの河内町」。地域の特色ある産業や、農業等を細かく調べ、ポスターセッション形式で発表しました。会場には2年生を招待しました。2年生は、4月から自分たちが取り組む学習ですので興味津々、食い入るように発表を聞いていました。

<3年の説明を熱心に聞く2年生>



～9年生から7年生へのメッセージ～  
目標達成のためには・・・

小グループ編成で、受験を終えたばかりの9年生からこれからの学習について話を聞きました。先輩の体験談に、真剣に聞き入る7年生でした。

～7年生から6年生へのメッセージ～  
後期課程の生活は・・・

同じ校舎の中とはいえ、後期課程の生活は前期課程とは大分違います。今年度後期課程に進級した7年生から丁寧な説明がありました。6年生も4月からの生活を想像しながらしっかりと聞きました。

(文責 秋山 美穂)

